

	エボ	マリンGX				EPOMARINE	GX	
一般名称	亜鉛めっき	き面用エポキシ樹	脂塗料下塗					
適用規格	JIS K 555	IS K 5551:2018 構造物用さび止めペイント A種・B種						
 系統	亜鉛めっき	かっき面用アミンアダクト硬化エポキシ樹脂下塗塗料(2液形)						
主な用途	【非鉄金属	属面用 】【電力・プラント用】 【鉄塔・鉄骨用】 など						
適用素材	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	コンクリー	١		
	0	0	0	0	適用可			
特長	2)鉄部•車	っき面用の下塗塗 蚤金属などへの付 業地区などの腐り	l着性が優れて	いる。	性がある。			
	塗料密度(比重)	(比重) 1.30(
	溶剤密度(比重)							
	加熱残分			61%	(淡彩)			
法令など			ベース			硬化:	削	
	劇物表示 (品名•含有率)					_	_	
	労安法上の 表示有害物	1-ブタノーノ	-シレン、トルエン レ、メチルイソブ・ エチルベンゼン				_	
	使用有機 溶剤種別	第2種有機溶剤等						
	消防法による 危険物区分	第	1石油類(非水	(溶性)		第2石油類(非水溶性)	
		第	1石油類(非水		族ポリアミン		非水溶性)	
	危険物区分 硬化剤の成分	第			族ポリアミン	,	非水溶性)	
製品情報	危険物区分 硬化剤の成分 による区分 ホルムアルデヒド	第	F	変性脂肪	族ポリアミン	(L以下)		
製品情報	危険物区分 硬化剤の成分 による区分 ホルムアルデヒド 放散等級	第 18kgセット		変性脂肪 ☆☆☆☆(放散	族ポリアミン	,	削	
製品情報 = -	危険物区分 硬化剤の成分 による区分 ホルムアルデヒド 放散等級		F ベース	変性脂肪	族ポリアミン 量0.12mg/	L以下) 硬化i	<u></u> 利	
製品情報 = - -	危険物区分 硬化剤の成分 による区分 ホルムアルデヒド 放散等級 荷姿 混合比(重量比)	18kgセット	ド ベース 16. 2kg 3. 6kg	変性脂肪 - ☆ ☆ ☆ (放散 ベース: 硬	族ポリアミン 量0.12mg/ 化剤=9:1	(L以下) 硬化; 1. 8k 0. 4k	<u></u> 利	
= - -	危険物区分 硬化剤の成分 による区分 ホルムアルデヒド 放散等級 荷姿 混合比(重量比) 主な色(色相)	18kgセット 4kgセット 赤さび色(09-4 は十分乾燥させ、	ベース 16. 2kg 3. 6kg ・OL近似)、白	変性脂肪 〒☆☆☆☆(放散 ベース:硬 (N-93近似)、	族ポリアミン 量0.12mg/ 化剤=9:1 グレー(Nー	(L以下) 硬化i 1.8k 0.4k 75近似)	削 《g 《g	
製品情報 = -	危険物区分 硬化剤の成分 による区分 ホルムアルデヒド 放散等級 荷姿 混合比(重量比) 主な色(色相)	18kgセット 4kgセット 赤さび色(09-4 は十分乾燥させ、 より塩分、水溶性	ベース 16. 2kg 3. 6kg OL近似)、白 汚れ等の不綱 汚染物質を除	変性脂肪 〒☆☆☆☆(放散 ベース:硬 (N-93近似)、	族ポリアミン 量0.12mg/ 化剤=9:1 グレー(Nー	(L以下) 硬化i 1.8k 0.4k 75近似)	削 《g 《g	去する。
= - -	危険物区分 硬化剤の成分 による区分 ホルムアルデヒド 放散等級 荷姿 混合比(重量比) 主な色(色相)	18kgセット 4kgセット 赤さび色(09-4 は十分乾燥させ、 より塩分、水溶性 塗装仕様書を参照	ボース 16.2kg 3.6kg OL近似)、白 汚れ等の不納 汚染物質を除 照ください。	変性脂肪 を	族ポリアミン 量0.12mg/ 化剤=9:1 グレー(Nー 、清浄であった 洗浄剤や溶	(L以下) 硬化i 1.8k 0.4k 75近似) ること。 剤で、油やグ	削 (g kg ・g	
- - 素地調整	危険物区分 硬化剤の成分 による区分 ホルムアルデヒド 放散等級 荷姿 混合比(重量比) 主な色(色相)	18kgセット 4kgセット 4kgセット 赤さび色(09-4 は十分乾燥させ、 より塩分、水溶性 塗装仕様書を参り 属面は動力工具 ベースに対して	ボース 16.2kg 3.6kg 3.6kg のL近似)、白 汚れ等の不約 汚染物質を除 照ください。 ・手工具を用い 硬化剤を所定	変性脂肪 ☆ ☆ ☆ ☆ (放散 ベース: 硬 (N-93近似)、 でもさびを除去 で自さびを除去 で割合になるま	族ポリアミン 量0.12mg/ 化剤=9:1 グレー(Nー 、清浄であった た浄剤や溶って で少しずつ。	TL以下) <u>硬化i</u> 1.8k 0.4k 75近似) ること。 剤で、油 やグ ィープ でまなか	剤 (g (g リースを除っ ト処理が望る	ましい。
- - 素地調整	危険物区分 硬化剤の成分による区分 ホルムアルデヒド放散等級 荷姿 混合比(重量比) 主な色(色相) 〇被塗面に 〇非鉄金 調合方法	18kgセット 4kgセット 4kgセット 赤さび色(09-4 は十分乾燥させ、 より塩分、水溶性 塗装仕様書を参照 属面は動力工具 ベースに対して 下記のシンナー	ボース 16.2kg 3.6kg 3.6kg のL近似)、白 汚れ等の不約 汚染物質を除 照ください。 ・手工具を用い 硬化剤を所定	変性脂肪 - ☆ ☆ ☆ 〈 放散 ベース: 硬 (N-93近似)、 を物の付着がなく まする。適切なえ で白さびを除去	族ポリアミン 量0.12mg/ 化剤=9:1 グレー(Nー 、清浄であった た浄剤や溶って で少しずつ。	TL以下) <u>硬化i</u> 1.8k 0.4k 75近似) ること。 剤で、油 やグ ィープ でまなか	剤 (g (g リースを除っ ト処理が望る	ましい。
= - -	危険物区分 硬化剤の成分による区グ ホルムアルデヒド 放散等級 荷姿 混合比(重量比) 主な色(色相) 〇水洗細は 〇非鉄金) 調合方法 熟成時間	18kgセット 4kgセット 4kgセット 赤さび色(09-4 は十分乾燥させ、 より塩分、水溶性 塗装仕様書を参照 属面は動力工具 ベースに対して 下記のシンナー 不要	ボース 16.2kg 3.6kg 3.6kg のL近似)、白 汚れ物質を除 ぼください。 ・手工具を所で活 で規定内で活	変性脂肪 ☆ ☆ ☆ ☆ (放散 ベース: 硬 (N-93近似)、 でもさびを除去 で自さびを除去 で割合になるま	族ポリアミン 量0.12mg/ 化剤=9:1 グレー(Nー 、清浄であった た浄剤や溶って で少しずつ。	TL以下) <u>硬化i</u> 1.8k 0.4k 75近似) ること。 剤で、油 やグ ィープ でまなか	剤 (g (g リースを除っ ト処理が望る	ましい。
- - 素地調整	危険物区分 硬化剤の成分による区分 ホルムアルデヒド放散等級 荷姿 混合比(重量比) 主な色(色相) 〇被塗面に 〇非鉄金 調合方法	18kgセット 4kgセット 4kgセット 赤さび色(09-4 はり塩けをできる。 はり塩は動力エ具 で記のシンナー 不要 標準: テクト	ボース 16.2kg 3.6kg 3.6kg OL近似)、白 汚れ等の不納 汚染物質を除照ください。 ・手工具を用い 硬化力で活	変性脂肪 を	族ポリアミン 量0.12mg/ 化剤=9:1 グレー(Nー 、清浄であった た浄剤や溶って で少しずつ。	TL以下) <u>硬化i</u> 1.8k 0.4k 75近似) ること。 剤で、油 やグ ィープ でまなか	剤 (g (g リースを除っ ト処理が望る	ましい。
- - 素地調整	危険物区分 硬化剤の成分による区グ ホルムアルデヒド 放散等級 荷姿 混合比(重量比) 主な色(色相) 〇水洗細は 〇非鉄金) 調合方法 熟成時間	18kgセット 4kgセット 4kgセット 赤さび色(09-4 はり塩仕をでいる はり塩は動力に で下でででは、 で下でででである。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	「 べース 16.2kg 3.6kg 3.6kg OL近似)、白 汚染物い。 ・手工剤を所で活 で見を所で活 EPシンサー EPシンナー EPシンナー	変性脂肪 を	族ポリアミン 量0.12mg/ 化剤=9:1 グレー(Nー 、清浄や溶 すること。ス でしたのち使)	TL以下) <u>硬化i</u> 1.8k 0.4k 75近似) ること。 剤で、油 やグ ィープ でまなか	剤 (g (g リースを除っ ト処理が望る	ましい。
- - 素地調整	危険物区分 便化剤の区グ ホルムアル等級 荷姿 混合と(重量比) 主な色(色相) 〇〇は ののよう 調合方法 熟成時 使用シナー	18kgセット 4kgセット 4kgセット 赤さび色(09-4 はりないででは、 はりないでは、 はりないでは、 はりないでは、 はりないでは、 はりないでは、 はりないでは、 はりないでは、 はりないでは、 はりないでは、 はりないでは、 はりないでは、 はりないでは、 できるでは、 できるでは、 できるでは、 できるでは、 できるでは、 できるでは、 できるでは、 できるでは、 できるできるでは、 できるでは、 できるできるでは、 できるできるでは、 できるできるでは、 できるできるでは、 できるできるできるでは、 できるできるできるできるでは、 できるできるできるできるできるでは、 できるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるで	「 べース 16.2kg 3.6kg OL近似)、白 汚染がい。 ・手 化規定の不能 ・手 化規定内で活 EPシ遅乾・ハク ・10wt% ハク	変性脂肪 を	族ポリアミン 量0.12mg/ 化剤=9:1 グレー(Nー 、清浄や溶 すること。ス でしたのち使)	TL以下) <u>硬化i</u> 1.8k 0.4k 75近似) ること。 剤で、油 やグ ィープ でまなか	剤 (g (g リースを除っ ト処理が望る	ましい。



エポマリンGX

EPOMARINE GX

使用量と膜厚

冷壮 十 :+	標準	標準使用量注)	
塗装方法 	Dry(μ m)	Wet(μm)	g/ ㎡ /回
エアレススプレー塗り	60	150	300
ハケ・ローラー塗り	40	100	160

注)標準使用量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目		5℃	10°C	20°C	30°C	40°C	
乾燥時間	指触	3時間	3時間	1時間	30分	30分	
早乙洙时间	半硬化	24時間	24時間	16時間	8時間	8時間	
標準塗装間隔 注)	最短	48時間	48時間	16時間	10時間	10時間	
保华坐表间隔 注》	最長	10日	10日	10日	7日	7日	
可使時間		12時間	12時間	8時間	6時間	3時間	

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

100℃耐用

作業禁止条件 気温 5°C以下、湿度(RH%)85以上

主な適用 強溶剤: —

弱溶剤: — — ハイソリット: —

水性: —

主な適用 上塗塗料

下塗塗料

強溶剤: エポマリン、レタン中塗E、セラテクトU中塗、セラテクトF中塗など

弱溶剤: — かんてアフリット・: —

水性: —

耐熱温度(大気バクロ環境) 瞬間 200℃耐用 、長時間

(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理 用特数值

希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
0	41. 7	2. 4
5	38. 8	2. 6
10	36. 3	2. 8

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または 【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で 希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。

※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

安全情報

- 〇安全情報に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。
- ○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
- ○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

貯蔵条件

本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。

高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

使用上の 注意事項

- 1)被塗面の異物(研削材、ダスト、油脂汚れ、水分)や粉化物などは塗装前に除去してください。
- 2) 亜鉛めっきに塗装する場合は安定した付着性を確保するために、下地処理はスイープブラストまたは、 りん酸亜鉛処理を行って下さい。
- 3) 塗膜が乾燥過程で水(降雨など)の作用を受けると白化することがあります。 この場合は軽くサンドペーパーなどで表面を研磨して表層を除去してください。
- 4) 常時没水される場合は使用できません。
- 5)塗料が皮膚につくと人によってはカブレをおこすことがあるので、皮膚につかないように取り扱ってください。 本品の安全衛生上の取り扱いについては技術資料031「エポキシ樹脂塗料の使用上の注意」を参照してください。
- 6) 塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、SDS(安全データーシート)を参照してください。